

令和7年度 事務事業マネジメントシート		段階： 令和6年度実施事業に係る事務事業評価					180	伊賀河原土地区画整理事業					都市構想部	区画整理課
1 事業概要		中事業番号		1368									所属コード	333000
政策体系		SDGs	広域事業	総合戦略	セーフ	2025	2030	2040	2050	D X 推進	手段	意図（目的）		
大綱（取組）	V「暮らしやすいまちの未来」	11.3 11.b									土地区画整理事業施行地区内の道路等の公共施設整備、建物移転、宅地整地及び保留地売却を行う。	中心市街地と周辺部を結ぶ交通体系の確立と計画的な都市基盤の整備により、水害等の災害の防止を図り、健全で新しい市街地の形成に努める。		
施策	4 豊かなまちなみがあり、誇りと魅力あふれるまち													

事業開始時周辺環境（背景）		現状周辺環境		今後周辺環境（予測）		住民意向分析	
中心市街地から近郊に位置しており、中心市街地と周辺部を結ぶ幹線道路等の整備と計画的な市街地整備が必要な地域だった。		土地区画整理事業が進み道路、公園等の整備により健全な居住環境の形成が進んでいる。 また、本事業地区内には、一級河川逢瀬川広域一般河川改修事業（施行者：福島県）が含まれている。		更なる土地区画整理事業の推進により、周辺地区との道路網の確立に併せた一体的な都市基盤の整備の促進により安全・安心で快適な生活基盤が整備される。		土地区画整理事業の事業期間が長期にわたっていることから、権利者から移転先の宅地整地、区画道路の整備の早期実現など、早期の事業完了が望まれている。 また、都市計画道路東部幹線の早期開通が望まれている。	

2 事業進捗等（指標等推移）			まちづくり基本指針五次実施計画		まちづくり基本指針六次実施計画		まちづくり基本指針七次実施計画		まちづくり基本指針八次実施計画		次期実施計画		次期実施計画		まちづくり基本指針	
指標名	指標名	単位	2022年度（令和4年度）		2023年度（令和5年度）		2024年度（令和6年度）		2025年度（令和7年度）		2026年度（令和8年度）		2027年度		中間指標 2022年度	最終指標 2025年度
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	計画		
対象指標	土地の権利者数	人		402		402		402								
活動指標①	道路整備延長（単年度）	m	355.0	443	633.8	625.8	1,130.0	437.9	463.0		880.0		770.0	380.0		
活動指標②	建物移転戸数（単年度）	戸	3	4	6	4	7	4	5		5		3	2		
活動指標③																
成果指標①	事業費ベースの進捗率	%	72.7	87.3	80.8	91.0	87.5	83.5	91.9		96.9		98.6	99.9	91.9	100
成果指標②	仮換地指定率	%	87.5	87.5	88.5	87.9	89.5	88.5	90.9		91.9		92.9	93.9	90.9	94
成果指標③	道路整備延長（累計）	m	8,585.6	9,243	9,164.9	9,869	10,294.9	10,307	10,757.9		11,637.9		12,407.9	12,787.9	10,757.9	12,788
単位コスト（総コストから算出）	事業費ベースの進捗率1%あたりのコスト	千円		141,476		219,264		224,077	182,086		182,086		182,086	182,086		
単位コスト（所要一般財源から算出）	事業費ベースの進捗率1%あたりのコスト	千円		33,457		113,077		83,721	6,488		8,304		31,938	31,938		
事業費		千円		1,091,073		780,809		747,832	1,127,509		860,500		284,000	195,500		
人件費		千円		26,588		30,468		36,439	41,520		41,520		41,520	41,520		
歳出計（総事業費）		千円		1,117,661		811,277		784,271	1,169,029		902,020		325,520	237,020		
国・県支出金		千円		235,000		167,100		176,927	280,000		130,000		42,500	65,000		
市債		千円		568,800		174,100		305,400	468,000		117,000		38,250	58,500		
受益者負担金（使用料、負担金等）		千円		47,514		0		0	0		0		0	0		
その他		千円		2,036		51,690		8,922	379,509		613,500		203,250	72,000		
一般財源等		千円		264,311		418,387		293,022	41,520		41,520		41,520	41,520		
歳入計		千円		1,117,661		811,277		784,271	1,169,029		902,020		325,520	237,020		
		実計区分	評価結果	継続	継続	継続	継続	継続		継続						

活動指標分析結果		成果指標分析結果		総事業費（事業費・人件費）分析結果	
都市計画道路東部幹線の整備を優先的に進めており、令和6年度においては補強盛土区間の改良工事を実施したところである。 また、地区南側に隣接する一級河川逢瀬川の河川改修に併せて、建物移転補償等を実施した。		事業計画の変更により総事業費を1,918百万円増額したことで、道路整備や建物移転補償等を実施したが、事業費ベースの進捗率は低下した。しかし、変更後の総事業費を基準とした前年度からの進捗率は3.5%増加であった。		【事業費】 前年度と比較し、道路整備延長は減、建物移転戸数は同数であったが、建物移転において貸家や店舗が移転対象であったため、総事業費としてはほぼ横ばいで推移した。	
				【人件費】 権利者交渉や各事業者間の調整等に相応の時間を要したため、人件費は増加した。	

### 3 一次評価（部局内評価）

(1) 事業手法評価			
1 規模・方法の妥当性		4	
2 公平性		4	
3 効率性		4	
4 活動指標（活動達成度）		3	
5 成果指標（目的達成度）		4	

(2) 事業継続性評価			

継続	一次評価コメント
地区内に位置する都市計画道路東部幹線の環状道路としての整備が急がれていることから、東部幹線及び伊賀河原1号線の整備を進めてきたところである。また、一級河川逢瀬川の河川改修工事が進み、住宅地の地盤も堤防に併せて上げることから、区画道路整備や建物移転補償等を継続して実施し、健全な市街地の形成のため事業進捗を図る。	

5レス	カウンターレス	キャッシュレス	ペーパーレス	ファイルレス	ムーブレス（会議レス）
				○	

気候変動対応	D X (デジタル市役所)	部局間協奏
	○	○

### 4 二次評価

(1) 事業手法評価			
1 規模・方法の妥当性		4	
2 公平性		4	
3 効率性		3	
4 活動指標（活動達成度）		2	
5 成果指標（目的達成度）		4	

(2) 事業継続性評価			

継続	二次評価コメント
令和6年度においては道路整備延長は437.9m、建物移転は4戸で、事業費ベースの進捗率は83.5%を達成し、前年度比で3.5%の進捗率向上が確認できた。道路整備の延長は計画値に届かなかったが、都市計画道路東部幹線の橋梁整備に注力したことによるものである。また、人件費や材料費の高騰という課題に対しては、事業計画の変更によって対応している。 東部幹線の整備を急ぐ住民ニーズが高いことから、今後においても継続して事業を実施する。	

(参考) 令和6年度カイゼンのための行動計画